

## 令和2年度 第1回東広島市環境審議会 議事要録

■日時：令和2年8月6日（木） 10:00～12:00

■場所：東広島市役所 会議室 303

■出席者：《配席表及び委員名簿参照》

○委員：西嶋会長、加栗副会長、杉原委員、市川委員、渡邊委員、宮委員、橋野委員、弓場委員、中島委員、水野委員、石井委員、日山委員、井上委員、石川委員

○事務局：生活環境部 弓場部長、波谷統括監  
廃棄物対策課 大歳次長  
環境対策課 山根課長、水戸参事、荒木係長、向谷主査  
中外テクノス株式会社 浅野、橘

○欠席：白男川委員

■配布資料

○次第

○配席表

○資料1 環境審議会委員名簿

○資料2-1 第2次東広島市環境基本計画の策定スケジュール

○資料2-2 市民アンケート調査票（案）

○資料2-3 事業者アンケート調査票（案）

○資料2-4 別紙\_現行計画の概要

○東広島市の環境（環境白書） 令和元年版

○東広島市の環境活動事例集 2019年（令和元年）版

■議事概要

### 1 開会

- ・事務局による開会
- ・出席者の自己紹介
- ・東広島市環境審議会の成立要件
- ・事務局による確認事項（議事の録音・記録に関する事）

### 2 議事

#### 議事1：東広島市環境審議会会長及び副会長の選任について

（事務局）

東広島市環境審議会会長及び副会長の選任について、立候補者がいないため、事務局案として、会長は西嶋委員、副会長は加栗委員を提案するがどうか。委員から異議がないため、二人にそれぞれ会長、副会長の就任をお願いしたい。ここからは西嶋会長に議事の進行をお願いする。

#### 報告1：第2次環境基本計画の策定スケジュールについて

(会長)

まず、事務局から会議資料の確認をお願いしたい。

(事務局)

(会議資料の確認)

(会長)

それでは、報告1の「第2次環境基本計画の策定スケジュールについて」事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)

(資料2-1～2-4の説明)

(会長)

ただ今の事務局の説明について、質問等あったらお願いしたい。

(委員)

アンケートはランダムに配布するのか。外国人の場合、日本語のみで書かれた書類は困惑する可能性があるのではないかと。東広島市は県内で最も外国人比率が高い市であるため、例えばタイトルだけでも外国語表記にするなどの配慮が必要ではないかと。

(事務局)

無作為（ランダム）抽出により行う。外国人への配慮については、頂いた意見を参考に検討する。

(委員)

市民アンケートの抽出は、地域性の観点でどのように振り分けているのか。また、事業者もどのように振り分けているのか。アンケートの調査において、設問の回答結果は、数値上では分かるが、その具体的な内容が分からない。項目ごとに記入欄を設けるなどをして、把握できるようにした方が良いのではないかと。

(事務局)

市民については、町ごとの人口比率によって重みづけをして、均等に振り分けている。事業者についても、偏った業種にならないように分類ごとに振り分けている。前回と重複してしまうところもあるが、ランダムに抽出するようにしている。アンケートの調査について、前回実施分では、それぞれの設問の下に自由記入欄を設けていた。しかし、記入する負担が増えて回答率が下がると考え、回答のしやすさを今回は優先した。まだ余白もあるため、検討していきたい。

(会長)

関連して、「東広島市の将来の環境像等について」記入する設問について、自由に記入とあるが、「将来の環境像や環境施策等について」と限定的であるため、自由に書きにくいのではないかと。もう少し検討して欲しい。

(委員)

市民アンケートの2頁の、市街地の緑に関して、都市型農地についても聞いて欲しい。また、同ページの下にその他を入れてほしい。コロナ渦で市民がBCPの取り組みをしているのか、それに対する満足度、重要度を知りたい。

(事務局)

その他の内容は指定した方が良いか。自由記載欄が良いか。

(委員)

自由記載欄が良い。

(会長)

一番下の行に追加してはどうか。

(委員)

点数が高い方が満足なのではないか？過去のアンケートではどうか。

(事務局)

過去の事例ではどちらもある。今回は東広島市総合計画のアンケートに合わせている。

(会長)

合わせる必要はなく、みんなが違和感のないものがよいので、検討してほしい。

(委員)

選択肢の「今後も行わない」はネガティブなイメージではないか。問4の項目は、身近なものから馴染みのないものまでであるが、これらの設問の意図は何か。また、これは以前のアンケートに沿ったものであるか。

(事務局)

選択肢の言い回しは検討する。問4の項目は、現行計画の市民の取り組みから抜粋している。現行計画の内容を知って欲しいという目的もある。取り組みやすいものを選定しているが、取り組みにくいものも若干ある。

(委員)

「環境フェアに参加している」などもっと身近な設問が良いと思う。

(事務局)

検討する。

(委員)

前回のアンケートの回収率と今回の目標を教えてください。

(事務局)

現行計画の策定前に行った同様のアンケートでは、市民アンケートが36.8%、事業者アンケートが41%の回収率であった。3年おきにアンケートを行っているが、前回は40%前後であった。一般的なアンケートの回収率は30%台であるので、目標としては40%としたい。

(委員)

今回のアンケートは、現行計画の最終回という位置づけで良いか。

(事務局)

市民、事業者に対するものとしては最終である。

(委員)

そもそも、このアンケートは何のために行って、何に使われるのかというのは新しい委員の方々にきちんと説明されているのか。これまで行ってきたアンケート調査の過程から説明していかないと単なる意識調査のように思われるのではないか。

現行計画のなかで、項目別に立てた目標の達成率を定期的に評価していくとき、数値で評価できるものと評価できないものがある。このうち数値で評価できないものについてアンケートを使

って評価するということと認識している。また、回収率の問題について、前回のアンケート結果のフィードバックや今回の結果がどう次のステップにつながるかを示さないと、回収率は上がらないのではないかと。

(事務局)

説明していただいた通り、市民の取り組みや満足度など、数値で把握できないものをアンケートで把握している。3年おきに定期的に調査をしているのは、計画の部分的な見直しが必要であるかどうか、今後の計画の判断材料として利用するためである。また、回収率及び環境に対する理解度の向上のために、アンケート自体の目的や使用用途についての説明を加える。ホームページ上で過去の結果は公開しているが、その案内が不十分であったため、これも説明に加える。ちなみに市の内部の調査については別途行う。

(会長)

アンケートの扉部分に上記の説明を加えてはどうか。

(委員)

アンケートの項目が多いので、重要度が高いのに満足度が低いものを選んで基本計画のメインにするのであれば、アンケートの結果はより活かされるだろうと感じた。

(事務局)

アンケート結果により、市民の環境に対する意識についての情報は手に入るが、最終決定ではない。アンケートはあくまでも資料として、この審議会を含め、様々な議論がなされたうえで最終的な計画の目標がつけられるものである。

(委員)

アンケート対象者について、万遍なく地域に配布されるのか。

(事務局)

ランダム抽出が前提である。人口比率に応じた数を確認したうえで対応する。

(委員)

市民アンケート1頁の環境の関心度を問う設問について、環境に関心のある方でないとイメージしにくいものがあり、チェックもしにくいのではないかと。例えば、今豪雨災害が多発しているが、地球温暖化と結びついているというような、補足説明があったほうが良いのではないかと。また、災害廃棄物についても追加してはどうか。

(事務局)

ご指摘の通り、補足説明を検討する。また、「環境問題」というよりは、「環境キーワード」を加えていくべきだと考えている。設問内容も含めて検討する。

(会長)

耳慣れない言葉は補足説明を検討して欲しい。

(委員)

酸性雨やオゾン層の破壊など、普通の市民の人には馴染みがなく響かない。7月から始まったレジ袋の有料化など、旬なキーワードを入れるのはどうか。

(事務局)

アンケートのボリュームが増えすぎると、本来の趣旨と異なってしまう可能性があるが、委員の皆さんのご指摘を参考に、環境問題に不慣れな方に対して導入口となるものを検討する。

### 3 その他

#### 環境審議会開催における新型コロナウイルス対策について

(事務局)

(説明)

(委員)

本来であれば今回も入場の際に検温と消毒液を準備するべきであったのではないか。

(委員)

環境審議会成立要件の規定はコロナ禍を想定していない。オンラインができれば問題ないが。

(会長)

全員で集まるなどにこだわらずに、柔軟に考えるべきではないか。後日、事務局に調整していただきたい。

### 4 閉会

- ・事務局による閉会